



京都府公立高等学校中期選抜について



1 中期選抜は、3月2日に出願（中学校から一括で出願）、3月8日に学力検査等、3月17日に合格発表。
2月下旬の出願なので、私立の1次試験、公立の「前期選抜」の結果を見てからの出願です。万が一私立高校や前期選抜で第1希望校が残念な結果となった場合には「中期選抜」に出願することができます。

2 中期選抜を実施する学科

「中期選抜」を実施するのは、「普通科（専門的な専攻を除く）」〔定員の70%〕と「職業に関する専門学科」「その他普通教育を施す学科」（京都工学院高校プロジェクト工学科、桂高校植物クリエイト科、園芸ビジネス科、開建高校ルミノーション科など。詳しくは「第2回進路説明会資料」参照）〔定員の30%～50%〕となります。前期選抜のところで記載したように、「職業に関する専門学科以外の専門学科」や「普通科の専門的なコース」は、「前期選抜」で定員の100%を決めるため、出願できません。

3 願書の記入にあたって（希望の書き方）

「前期選抜」では、志望する学校（コース）を1校しか記入できませんが、「中期選抜」では、最大3校まで記入できます。志望する順番に「第1志望第1順位」「第1志望第2順位」「第2志望」です。（第1志望第1順位以外は未記入でも構いません。）

※ 中期選抜では、志願欄に「普通科」と「専門学科」を並べる事も可能です。例えば、第1志望第1順位が「桂高校普通科」、第1志望第2順位が「桂高校植物クリエイト科」と記入する事もできます。ただし「普通科」と「農業科」では、学習内容が大きく違うので、安易にこのような志願をすることはお勧めできません。志願するなら、必ず説明会や見学会に参加しておきましょう。

※ 全日制と定時制を混ぜて志願する事はできません。

4 中期選抜の合格決定方法

「中期選抜」の第1志望は、2つのステップで選抜されます。まずステップ1で、中期選抜の定員の90%が決まります。この判定は当日の学力検査の得点と「報告書」の内容を総合的に判断して行われます。後で説明しますが、このステップ1で合格できる学力などをつけておくことが大切です。

残された中期選抜の定員の10%は、ステップ2で選抜されます。ステップ2では「第1志望第1順位のステップ1で合格にならなかった人」が対象になります。この時、第1志望第1順位と、第1志望第2順位に書いた2校で選抜対象になります。どちらの高校でも合格であれば第1順位の高校で合格、第2順位の高校だけが合格の場合は第2順位の高校での合格となります。

以上のように書けば、ステップ2は「手堅い」と言えますが、ステップ2では他の高校を第1志望第1順位としていた人とも合わせて選抜されますから注意が必要です。

では、もっと具体的に考えてみましょう。裏の表をよく見てください。ABCの3校があるとして考えます。下の図で「合計点」は選抜の根拠になる数値を100点満点に変えたもの。A1～C11は、それぞれの高校を第1志望第1順位で志望した人。各校の「中期選抜定員」は10人と仮定して示しました。

(1) ステップ1で合格の人は各校9名となりますから、○の人が合格です。ステップ2では、残り1名が合格になります。

(2) A10は、どの高校を第2順位にしているも第1順位A高校で合格です。

(3) B10は、B高校で10位ですが、A11の第2順位がB高校であれば、B高校は不合格になります。

(4) さらにB10の第2順位がA高校であれば、A10の方が上位なので不合格です。

(5) しかしB10の第2順位がC高校であれば、C10より上位なので、C高校で合格です。（A11の第2順位がB高校の場合）

(6) C9を見ると、C9が第1志望第1順位にA高校やB高校を書いていれば、第2順位にC高校を書いても不合格となるはずですが、C高校を第1志望第1順位としたことで、ステップ1で合格し、公立高校への進学が決まったわけです。

つまり、この例でもわかるように、どの志願欄にどの高校名を書くかで合否が変わることにもなりえますから、注意が必要です。

また、A10以上の「合計点」があれば、ABCどの学校を第1志望としても合格となります。現在の自分が持つ得点力を上げるための学習と、報告書に記入される内容を高めるための学習（中学校の授業）の両方を確実に行う事が、希望進路実現のポイントです。

※ 第2志望に校名を書いた場合には、その高校が第1志望のステップ2を行っても合格者が定員に満たない場合に選抜対象となります。

5 公立中期選抜にあたっての注意事項

(1) 進学したい高校の順位を明らかに

公立高校の受検で注意して欲しいのは、公立高校は全て専願扱い（合格すれば、その学校に必ず入学する）だということです。結果を見て「この高校よりも、併願で合格した私立高校に入学したい」ということはできません。

もし、そのような希望であれば、願書の第1志望第2順位・第2志望の欄に斜線を引き、希望しない意志を示せば良いのです。ただし、併願校に合格してから線を入れましょう。

以上のことでもわかるように、2月に行われる私立高校の入試で併願受験をして合格すれば、公立入試で自分の希望する学校のみを志願することもできるし、残念な結果となった場合でも高校進学ができます。ですから自分の希望順位を「進路希望調査」などに書くときには、各校の合否の可能性を考えると共に、どの順番に進学したいのかをはっきりさせる（親とも相談しましょう）ことが大切です。また、希望順を決めるためには、その学校を見たり説明会に参加したりするなどして「どんな高校なのか」を知っておく必要もあります。

(2) 中期選抜の高校名を書くにあたって

右の表は近隣の昨年度公立高校普通科の中期選抜における定員と志願者数を示しています。右の表を見て、みなさんはどう思いませんか？表の志願者数は、それぞれの高校を「第1志望第1順位」で志願している人数を示しています。定員の90%がステップ1で合格、残り10%は、同じ高校を第2順位としている人と第1順位の人を合わせて合否が決まることを覚えておいて下さい。

合計点	A高校		B高校		C高校	
100						
99	A1	○	B1	○		
98	A2	○			C1	○
97	A3	○				
96	A4	○				
95	A5	○	B2	○		
94			B3	○	C2	○
93	A6	○	B4	○		
92	A7	○	B5	○		
91			B6	○	C3	○
90	A8	○			C4	○
89	A9	○	B7	○	C5	○
88	A10	●	B8	○	C6	○
87	A11	●			C7	○
86			B9	○		
85	A12	●	B10	●	C8	○
84	A13	●	B11	●		
83			B12	●	C9	○
82	A14	●	B13	●	C10	●
81	A15	●	B14	●	C11	●

高校名	定員	志願者数	倍率
西乙訓高等学校	112人	76人	0.68倍
乙訓高等学校	135人	134人	0.99倍
向陽高等学校	140人	141人	1.01倍
洛西高等学校	196人	195人	0.99倍
桂高等学校	196人	248人	1.27倍

基本的に、第2順位に記入する高校名は、第1順位校より合否基準が低いと予測できる高校です。（先の例で、B高校を第1順位にしたB10～B14の人が、A高校を第2順位にしても、合格する可能性はありません。）だから、第1順位校のステップ2で競う相手は自分よりも高得点であると予想できます。

つまり、中期選抜で自分が最も進学を希望する高校に合格するためには、ステップ1で合格できる「上位90%」の能力を示す必要があります。

「第5回五ツ木・京都模試テストの申込」について

実施日：12月4日（日）

校内申込日：11月11日（金）朝

備考：団体扱いで申込を行う場合は11月11日（金）の朝（朝学活までに）に昇降口（靴箱の前）におられる業者の方に、受験料3900円を添えて申し込んでください。朝学活に遅れないように申し込む人は早めに登校するように心がけましょう。